[1] 平成１０年以降の外国産稲わらの流通状況

年	県内流通量	備考
１０年	2,485	
１１年	2,850	
１２年	1,420	肥育農家１９戸で利用
１３年	723	肥育農家１５戸で利用（Ｈ１３．１０．３１までの状況）

（単位：トン）

[2] 平成１３年の外国産稲わら流通状況調査結果

（平成１３年４月６日～１０月３１日）

地域	農家氏名	住所	販売店名称	計	備考
県北	A	安達郡岩代町	U	10.0	
県中	B	田村郡大越町	B	12.9	
	C	”	B	2.5	
	D	郡山市	B	59.8	
	E	石川郡石川町	A	10.7	
	F	石川郡平田村	A	13.5	
	G	”	A	4.8	
	H	”	A	4.6	
	I	”	A	10.0	
	J	田村郡常盤町	B	4.0	
	L	田村郡小野町	N	138.0	
	M	須賀川市小倉	A	2.8	
会津	N	河沼郡河東町	A	5.6	
相双	O	双葉郡葛尾村	B	385.0	
	P	相馬郡飯館村	B	59.1	
合計				723.3	

（単位：トン）

[3] 外国産稲わらの利用農家の概要と今後の意向等について

NO	地域	市町村名	農家名	経営類型	畜種	飼養頭数	購入要因	今後の意向	備考
1	県北	岩代町	A	肥育	F1	210	愛知県に本社がある飼料メーカーの直営牧場。	継続利用。	10トン／月利用。
2		東和町		繁殖	和牛	35	労力が本人のみのため、稲わら収集が難しい。	輸入稲わらは品質にバラツキあり、経費的に折り合えば近隣のワラを利用したい。	
3	県中	郡山市	D	肥育	F1・ホルス	1,500		郡山等から稲わらは確保済み、ただし来年夏場以降が心配。	輸入稲わらは一部農場で利用。
4		須賀川市	M	肥育		90		必要量を確保済み、今後は購入計画ない。	
5		平田村	F	肥育		70		必要量確保した、ただし頭数の増しにより、来年夏場以降購入もある。	
6			G	肥育		50		必要量確保した。BSEの影響で廃業予定。	
7			I	肥育		50		村内より充分な量を確保済み、購入予定なし。	
8			H	肥育		40		村内より充分な量を確保済み、購入予定なし。BSEの様子を見るため、新たな素牛購入しない。	
9		滝根町	L	肥育		700	切断されており、利用しやすい。国産収集は一時的な労働力の確保が難しい。	稲わら運んでもらえるなら国産を利用したい。	国産については、近隣のはせ掛け、北海道・青森からロールで購入しているが、運搬が難。
10		大越町	B	肥育		380	切断されており、利用しやすい。国産収集は一時的な労働力の確保が難しい。また、湿っているため保管前に乾燥する労力が大変。	近隣から稲わら確保した、夏場以降の不足心配。	
11			C	肥育		100	浜辺の農家から集めているが、夏場に不足するため、購入させる得ない。		今後の購入計画はない。
12	相双	飯舘村	P	肥育		300	国産労力的に収集できない。	運搬・収集までしてもらえるなら利用したい。	輸入100%、価格キロ38．5円。
13				肥育		300		外国産の値段が上がっているため、なるだけ国産を利用したいが、不足の場合は輸入ものを使う。	年間稲わら利用量90トン、村内15ヘクタールから約75トン収集　(堆肥2トン／10a)。